



ロータリー文庫を あなたのポケットに!!

～身近ですぐ使えるロータリー文庫を目指して～

ロータリー文庫運営委員会委員長 小倉純夫（松戸RC）

日本の会員の思いが詰まった「手作り図書館」

ロータリー文庫の歴史は、日本のロータリー 50 周年記念事業の一環として、1970 年にロータリー資料室として設立されたことに始まります。73 年、「ロータリー文庫」と改称され今日に至っています。設立当初は R I の認可組織ではなかったため、R I から直接関連文献を入手できず、主にクラブを通じて集めた文献資料で構成されていました。その後 99 年に R I から正式に認可され、2020 年からは紙の文庫から本格的な電子図書館に移行し始め、23 年、電子図書館に生まれ変わりました。日本中のロータリアンの思いと資料によって築かれたこの「手作り図書館」では現在、約 2 万点以上のロータリー文献、資料がデジタル化され、スマホやタブレットで簡単に文献資料の検索、閲覧ができるようになっています。

なお、ロータリー文庫は、会員の皆さまからの年間 200 円の協力金で運営されています。ロータリー文庫運営委員会は、委員長以下 14 人の役員が定期的に全国から集まり運営に当たっています。日常業務は常設委員会が行い、資料の収集や整理は事務局が対応。電子図書館への移行に伴い事務所の規模を縮小、移転し、経費の節約にも努めています。

日本のロータリーの「知のアーカイブ」として

現在の課題は、より多くのロータリアンの皆さまにロータリー文庫の存在を知っていただき、活用していただくこと。そのためには皆さまに対し、電子図書館へのアクセスに必要なパスワードの周知をお願いしています（毎年 7 月 1 日に各ガバナー事務所宛てに ID とパスワードをお送りしています）。

また、クラブの記念誌、地区発行の資料、ロータリーに関する論文、ご意見など会員に有用な資料を「知のアーカイブ」として蓄積、保存するとともに、その充実を図っています。これらの資料は会員の皆

さまからのご提供によって成り立っています。今後ともご協力をお願いいたします。

さらに時代の変化に対応すべく、これまで蓄積されてきた VHS などのアナログ資料のデジタル化・映像化を進める予定です。より多くの方に使いやすい文庫を目指し、ウェブサイトの改良や映像コンテンツの導入など、情報発信にも力を注いでまいります。

ロータリー文庫は、日本のロータリーの歴史と伝統を記録し、未来へ引き継いでいくために存在しています。これからの日本のロータリーの未来のために蓄積し続けてきたアーカイブを途切れさせることなく、これからも歴史と伝統を引き継いでいきます。まさに「日本のロータリーのアーカイブ」としての役割を果たし続けるロータリー文庫。皆さまの一層のご利用を、重ねてお願い申し上げます。

第 2790 地区（千葉県）2022 - 23 年度ガバナー

ロータリー文庫ウェブサイト



資料の閲覧には、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。ご不明の場合は、クラブまたはガバナー事務所、ロータリー文庫事務局にお問い合わせください。

ロータリー文庫ウェブサイトはこちら→



お問い合わせ
ロータリー文庫

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-16
第 3 小森谷ビル別館 6 階
Tel.03-3433-6456 Fax.03-3459-7506